

Maintenance Diary 用コンジットの使い方

01/08/05

目次

1. はじめに.....	2
2. インストール方法.....	3
3. アンインストール方法.....	4
4. 設定.....	5
5. 最後に.....	7
6. 遍歴.....	8

1. はじめに

本マニュアルは、Palm デバイス上で車やバイクの整備記録を管理するための Palmware 「Maintenance Diary」用コンジット*(1)の使用方を説明するものです。

現在のバージョンでは、Palm デバイス上の全データを PC 上にテキストファイル形式で保存することのみが可能となっています。

2001/07/21

Junichi Dezaki

*(1) ひらたく言えば Palm デバイスと同期をとっているデスクトップ PC やノート PC と特定の Palmware (この場合 Maintenance Diary) がやり取りができるようにする Dll のことです。

2. インストール方法

1. 同包されている「Install.exe」をダブルクリックして実行してください
2. 同梱されている「MainteDiary.dll」を「Hotsync.exe」がインストールされているディレクトリにコピーして下さい。ユーザーが特に指定していない限り、「Hotsync.exe」は、C:\Program Files\Palm ディレクトリにインストールされているはずです。
3. Windows デスクトップ、タスクバーの右に位置する「スタート」メニューの小さいホットシンクアイコンを右クリックして「終了」を選択し、一旦ホットシンクマネージャーを終了させます。「スタート」メニューからアイコンが消えるはずです。
4. 「Hotsync.exe」をダブルクリックし実行します。再度ホットシンクアイコンが現れるはずです。

以上の作業を行ったあとに、タスクバーのホットシンクアイコンを右クリックして「動作設定」を選択すると、図1のように、設定項目に「MainteDiary」が新たに加わっているはずです。

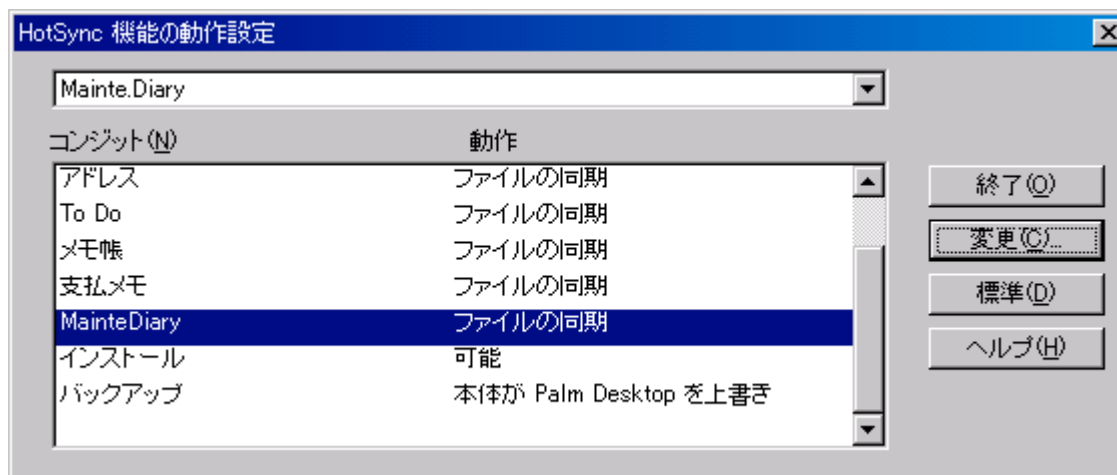


図 1

3. アンインストール方法

1. 同包されている「Uninstall.exe」をダブルクリックして実行して下さい。
2. Windows デスクトップ、タスクバーの右に位置する「スタート」メニューの小さいホットシンクアイコンを右クリックして「終了」を選択し、一旦ホットシンクマネージャーを終了させます。「スタート」メニューからアイコンが消えるはずですが。
3. 「Hotsync.exe」をダブルクリックし実行します。再度ホットシンクアイコンが現れるはずですが。

以上の作業を行ったあとに、タスクバーのホットシンクアイコンを右クリックして「動作設定」を選択すると、設定項目の「MainteDiary」が消えているはずですが。

4. 設定

タスクバーのホットシンクアイコンを右クリックして「動作設定」を選択すると、図 1 のように、設定項目に「MainteDiary」が新たに加わっているはずです。

「MainteDiary」を選択し、「変更 (C)」ボタンを押します。

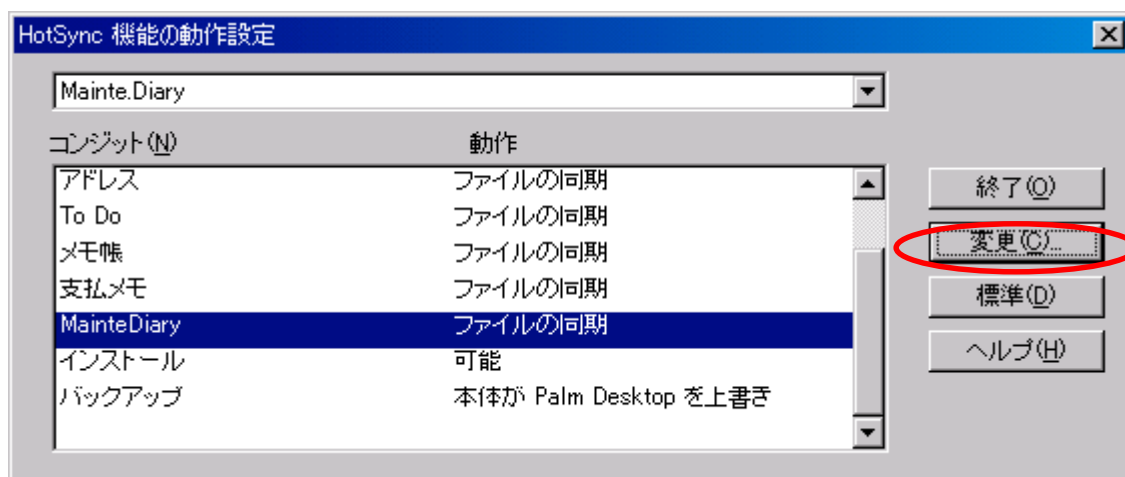


図 2

図 3 の「HotSync 機能の動作変更」ウィンドウが現れますので、「本体が PalmDesktop を上書き」を選択します。「標準として保存」チェックボックスを選択すると、ホットシンクの度に、データがテキストファイルに保存され、選択しない場合は、次回のホットシンク時のみデータが保存されます。

「本体が PalmDesktop を上書き」以外の項目を選択しても何も起こりません。

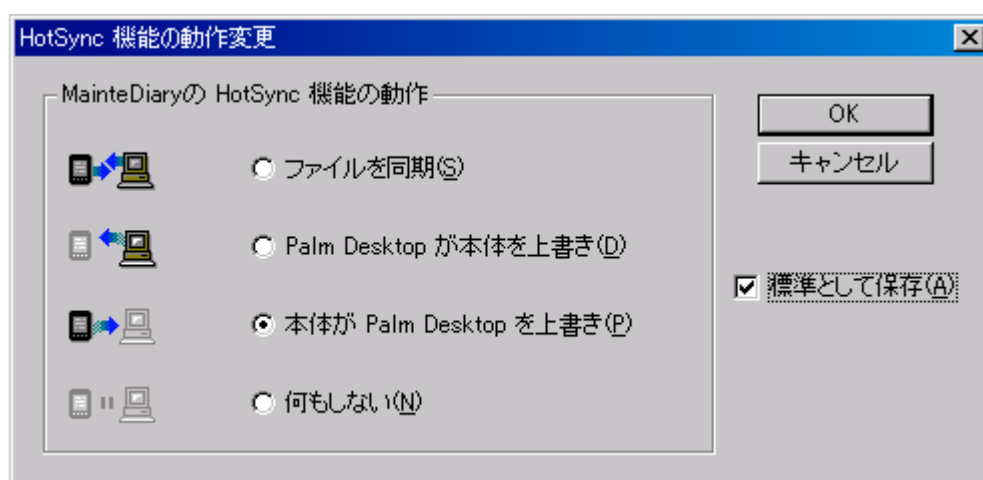


図 3

データは、各ユーザーのディレクトリに「MainteDiray」ディレクトリが作成され、
「MainteDiaryDB.txt」に保存されます。

5. 最後に

とりあえずコンジットの第一弾です。Excel でデータが読み込めるような形式でデータが保存されています。

このコンジットも「Maintenance Diary」と同様 Freeware となっています。

このコンジットについてのご意見、ご感想、バグ情報などは、

dezaki@mail.wbs.ne.jp

に頂ければ幸いです。こういう機能をつけて欲しい...といったこともメール頂ければ検討してみたいと思います。

6. 遍歴

Ver 0.1.0	01/07/21	テストのために数名に配布。
Ver 0.2.0	01/08/05	HotSync が終了しないバグを FIX。